

仕様書

① 案件名称	区役所庁舎用 自動体外式除細動器(AED)本体ほか2点 買入
② 品名	別紙のとおり
③ 規格及び数量	すべて新品を納品すること(詳細は別紙のとおり)
④ 納入期限	令和8年7月8日(水)
⑤納入場所	大阪市浪速区敷津東1-4-20 浪速区役所総務課(6階63番)
⑥特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・納入時期については、事前に事業担当と連絡調整を行い、土・日・祝日を除いた平日の午前9時から午後5時までの間に完了すること ・納品の際は、納品物品の名称及び数量等が確認できる「納品書」を提出すること ・納品時等において建物等へ損傷を与えた場合は、受注者の負担により原状回復を行うこと ・納品に際して発生する廃棄物等の処理は、受注者の責任において行うこと ・保証期間は納入完了の日から起算して機器本体は1年以上とし、この期間は受注者の責任において故障、破損等の欠陥を認めるときは、その修理等(部品代金を含む)は無償で行うものとし、その期間代替品を用意すること。 ・契約締結後、すみやかに事業担当へ単価のわかる内訳明細書を提出すること ・見積金額には、配送料等本契約にかかる全ての費用を含むものとする。 ・見積にあたっては、本仕様書を十分検討し、疑義ある場合(同等品の可否を含む)は事前に質問し、その内容を熟知の上見積るものとする。契約後における仕様書の疑義は、本市の解釈によるものとする。 ・品名・品番は参考とする。同等品以上で納品する場合は、見積書提出前にサンプル品を提示(カタログ等可)し、了承を得たものに限る。 ・納品物については、「大阪市グリーン調達方針」(http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000224120.html)別表の【判断の基準】を満たすものとし、【配慮事項】について充分配慮されていること
⑦事業担当	大阪市浪速区敷津東1-4-20 6階63番 浪速区役所 総務課(総務) 電話:06-6647-9936 担当:有本

別紙：品名、規格及び数量

No.	品名	品質、形状、サイズ	単位	数量	参考製品例(同等品以上可)					
					例①		例②		例③	
					メーカー	品番	メーカー	品番	メーカー	品番
1	自動体外式除細動器(AED)本体	<p>●付属品</p> <p>①バッテリー 1個</p> <p>②成人用電極パッド 1組</p> <p>③小児用電極パッド 1組</p> <p>※②・③の数量について、機器本体のモード切替により両方の電極パッドに対応できる場合、あわせて1組で可とする。</p> <p>④救急セット(ハサミ、タオル、手袋及び人口呼吸用マウスピース又はマウスシート、脱毛テープ又は使い捨て剃刀) 1個</p> <p>⑤キャリングケース 1個</p> <p>※機器本体を保護することができ、屋外への搬出にも対応できること。</p> <p>※表示ステッカーを除くすべての付属品をキャリングケース内又は外側に付属する収納袋に収納することができ、常時機器本体と一体で持ち運びが可能であること。</p> <p>⑥取扱説明書(日本語版・紙媒体) 1個</p> <p>⑦「AED設置施設」表示ステッカー 1個</p> <p>●仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律において医療器具として承認を得ていること。 ・成人、小児双方に対応可能であること。(成人・小児の区分については、JRC救急蘇生ガイドライン2020に準拠するものとする。) ・日本語での音声指示アナウンスによる操作ガイダンス機能を備え、除細動器の使用経験がなくても適切な操作が可能であること。 ・JRC救急蘇生ガイドライン2020に対応(準拠)する機器であること。 	台	1	フィリップス・ジャパン	ハートスタートFRx+e	オムロン	レスキューハートHDF-3500	日本光電	AED-3100

		<ul style="list-style-type: none"> ・通電波形は二相波形式で、出力エネルギーは150J～200Jであること。(負荷抵抗50Ω時) ・バッテリー方式で作動し、機器本体の耐用期間年数が7年以上とする。また、バッテリーの寿命は機器本体に装着したスタンバイ状態において、4年以上であること。 ・使用時に患者の心電図波形が正常値に戻っていた場合は、電気ショックを自動的にキャンセルする機能があること。 ・機器本体が毎日セルフテストを自動で行うこと。 ・機器本体に異常が見つかった場合はインジケータに表示するとともに、警告音を発することができること。 ・電極パッドが機器本体にあらかじめ接続されていること。また、成人用電極パッドと小児用電極パッドが別の場合は、小児用電極パッドはケース内に収納されていること。 ・未就学児(およそ6歳未満)に使用する場合、自動又は手動により小児モード等に切り替える(電極パットの交換等によるものも含む)ことにより出力エネルギーを減衰できること。 ・防塵・防水機能を有すること。またはIP55の規格を有していること。 								
2	バッテリー(自動体外式除細動器(AED)付属品)	【製品指定】 メーカー名:フィリップス・ジャパン 製品名:ハートスタート FRx+e 医療機器承認番号: 22000BZX00305000(高度管理医療機器/特定保守管理医療機器)	個	1	—	—	—	—	—	—
3	電極パッド(自動体外式除細動器(AED)付属品)	【製品指定】 メーカー名:フィリップス・ジャパン 製品名: SMARTパッド II	組	1	—	—	—	—	—	—

グリーン配送に係る特記仕様書

- 1 本契約に基づき物品等を大阪市に納入する際には、車種規制非適合車以外の自動車である、大阪市グリーン配送適合車（以下「グリーン配送適合車」という。）を使用しなければならない。

注 「車種規制非適合車」とは「自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（自動車NO_x・PM法）」に定める窒素酸化物排出基準又は粒子状物質排出基準に適合しない自動車である。

なお、物品配送業務を他人に委託するときは、受託人の使用する自動車についてグリーン配送適合車の使用を求めること。

- 2 本契約締結後速やかに、本市が別途定める様式により、物品配送業務に使用する自動車がグリーン配送適合車である旨の届出を環境局環境管理部環境規制課あて行うこと。ただし、既に本市に届出済みの自動車を使用する場合又は次の各号に定める自動車を使用する場合はこの限りではない。
 - (1) 大阪府グリーン配送実施要綱に基づく大阪府グリーン配送適合車
 - (2) 神戸市グリーン配送ガイドラインに基づく神戸市グリーン配送適合車
- 3 本市に届出済みのグリーン配送適合車に、グリーン配送適合ステッカーを貼付すること。
- 4 物品等を納入した際に、本市職員が確認のため「グリーン配送適合車届出済証」等の提示を求めた場合には、協力すること。

大阪市グリーン配送に関する問合せ

大阪市環境局環境管理部環境規制課
自動車交通環境対策グループ
電話：06-6615-7965

特記仕様書

(条例の遵守)【5条関係】

第1条 受注者および受注者の役職員は、当該業務の履行に際しては、「職員等の公正な職務の執行の確保に関する条例」(平成18年大阪市条例第16号)(以下「条例」という。)第5条に規定する責務を果たさなければならない。

(公益通報等の報告)【6条2項・12条2項関係】

第2条 受注者は、当該業務について、条例第2条第1項に規定する公益通報を受けたときは、速やかに、公益通報の内容を発注者へ報告しなければならない。

2 受注者は、公益通報をした者又は公益通報に係る通報対象事実に係る調査に協力した者から、条例第12条第1項に規定する申出を受けたときは、直ちに、当該申出の内容を発注者へ報告しなければならない。

(調査の協力)【7条2項関係】

第3条 受注者及び受注者の役職員は、発注者又は大阪市公正職務審査委員会が条例に基づき行う調査に協力しなければならない。

(公益通報に係る情報の取扱い)【17条4項関係】

第4条 受注者の役職員又は受注者の役職員であった者は、正当な理由なく公益通報に係る事務の処理に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

(発注者の解除権)【21条関係】

第5条 発注者は、受注者が、条例の規定に基づく調査に正当な理由なく協力しないとき又は条例の規定に基づく勧告に正当な理由なく従わないときは、本契約を解除することができる。

第6条 発注者と本契約を締結した受注者は、この契約の履行に関して、発注者の職員から違法又は不適正な要求を受けたときは、その内容を記録し、直ちに発注者の大阪市浪速区役所総務課(連絡先:06-6647-9977)に報告しなければならない。

暴力団等の排除に関する特記事項

1 暴力団等の排除について

- (1) 発注者は、大阪市暴力団排除条例（平成 23 年大阪市条例第 10 号。以下「条例」という。）第 8 条第 1 項第 6 号に基づき、受注者（受注者が共同企業体であるときは、その構成員のいずれかの者。以下同じ。）が条例第 2 条第 2 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は同条第 3 号に規定する暴力団密接関係者（以下「暴力団密接関係者」という。）に該当すると認められた場合には、この契約を解除する。
- (2) 発注者は、条例第 8 条第 1 項第 7 号に基づき、条例第 7 条各号に規定する下請負人等（以下「下請負人等」という。）が暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められた場合には、受注者に対して、当該下請負人等との契約の解除を求め、受注者が当該下請負人等との契約の解除の求めを拒否した場合には、この契約を解除する。
- (3) 受注者は、暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をしてはならない。
- (4) 受注者は、下請負人等に、暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をさせてはならない。
また、受注者は、下請負人等が暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をした場合は当該契約を解除させなければならない。
- (5) 第 1 号及び第 2 号の規定により契約が解除された場合においては、受注者は、契約金額の 100 分の 20 に相当する額を違約金として発注者の指定する期間内に支払わなければならない。
- (6) 受注者及び下請負人等は、この契約の履行にあたり暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者から条例第 9 条に規定する不当介入（以下「不当介入」という。）を受けたときは、速やかに、この契約に係る本市監督職員若しくは検査職員又は当該事務事業を所管する担当課長（以下「監督職員等」という。）へ報告するとともに、警察への届出を行わなければならない。
また受注者は、下請負人等が暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者から不当介入を受けたときは、当該下請負人等に対し、速やかに監督職員等へ報告するとともに警察への届出を行うよう、指導しなければならない。
- (7) 受注者及び下請負人等が、正当な理由なく本市に対し前号に規定する報告をしなかったと認めるときは、条例第 12 条に基づく公表及び大阪市競争入札参加停止措置要綱による停止措置を行うことがある。
- (8) 受注者は第 6 号に定める報告及び届出により、本市が行う調査並びに警察が行う捜査に協力しなければならない。
- (9) 発注者及び受注者は、暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者からの不当介入により契約の適正な履行が阻害されるおそれがあるときは、双方協議の上、履行日程の調整、履行期間の延長、履行内容の変更その他必要と認められる措置を講じることとする。

2 誓約書の提出について

受注者及び下請負人等は、暴力団員又は暴力団密接関係者でない旨の誓約書を提出しなければならない。ただし、発注者が必要でないと判断した場合はこの限りでない。

生成 AI 利用に関する特記仕様書

受注者又は指定管理者（再委託及び再々委託等の相手方並びに下請負人を含む）が生成 AI を利用する場合は、事前に発注者あて所定様式により確認依頼をし、確認を受けるとともに、「大阪市生成 AI 利用ガイドライン（別冊 業務受託事業者等向け生成 AI 利用ガイドライン第 1.1 版）」に定められた以下の利用規定を遵守すること。

生成 AI の利用規定

- 生成 AI を利用する場合は、利用業務の内容、利用者の範囲、情報セキュリティ体制等及び利用規定の遵守・誓約内容を事前に所定様式※により発注者宛に確認依頼をし、確認を受けること。
※ 所定様式は大阪市ホームページからダウンロードできます
<https://www.city.osaka.lg.jp/ictsenryakushitsu/page/0000623850.html>
- 前記確認内容に変更等が生じた際には変更の確認依頼をし、確認を受けること。
- 生成 AI は、受注者又は指定管理者の業務支援目的に限定し、市民や事業者向けの直接的なサービスには利用しないこと。
- 画像及び動画の生成 AI サービスを利用する場合は、利用者が生成物を利用する際に他者の著作権を侵害しないよう選別したコンテンツで AI モデルの学習をしているサービスを利用することを原則とする。ただし、当該要件に該当しないサービス又は該当するか不明のサービスを利用する場合は、生成内容が既存著作物との類似性や無許諾での依拠がないことを確認し、かつ、成果物として利用する際は発注者の同意を得ること。
- インターネット上の公開された環境で不特定多数の利用者に提供される定型約款・規約への同意のみで利用可能な生成 AI の利用を禁止する。
- 生成 AI 機能が付加された検索エンジンやサイトは、一般的にインターネットで公開されている最新の情報を検索する目的でのみの利用とし、生成 AI による回答を得る目的での利用を禁止する。
- 生成 AI を利用する場合は、入力情報を学習しない設定（オプトアウト）をして利用すること。
- 契約又は協定の履行に関して知り得た秘密及び個人情報の入力を禁止する。
- 著作権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利を侵害する内容の生成につながる入力及びそのおそれがある入力を禁止する。
- 生成・出力内容は、誤り、偏りや差別的表現等がないか、正確性や根拠・事実関係を必ず自ら確認すること。
- 生成・出力内容は、著作権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利の侵害がないか必ず自ら確認すること。
- 生成・出力された文章は、あくまで検討素材であり、その利用においては、受注者又は指定管理者が責任をもって判断するものであることを踏まえ、加筆・修正のうえで使用すること。
- 生成・出力内容は、上記に定める正確性の確認等を経たうえで、加筆・修正を加えずに利用（公表等）する場合は、生成 AI を利用して作成した旨を明らかにして意思決定のうえで利用すること。
- 情報セキュリティ管理体制により、利用者の範囲及び利用ログの管理などにより情報セキュリティの確保を徹底して適切に運用すること。